

图 3.1 調査地点位置图 (縮尺 1:1,000)

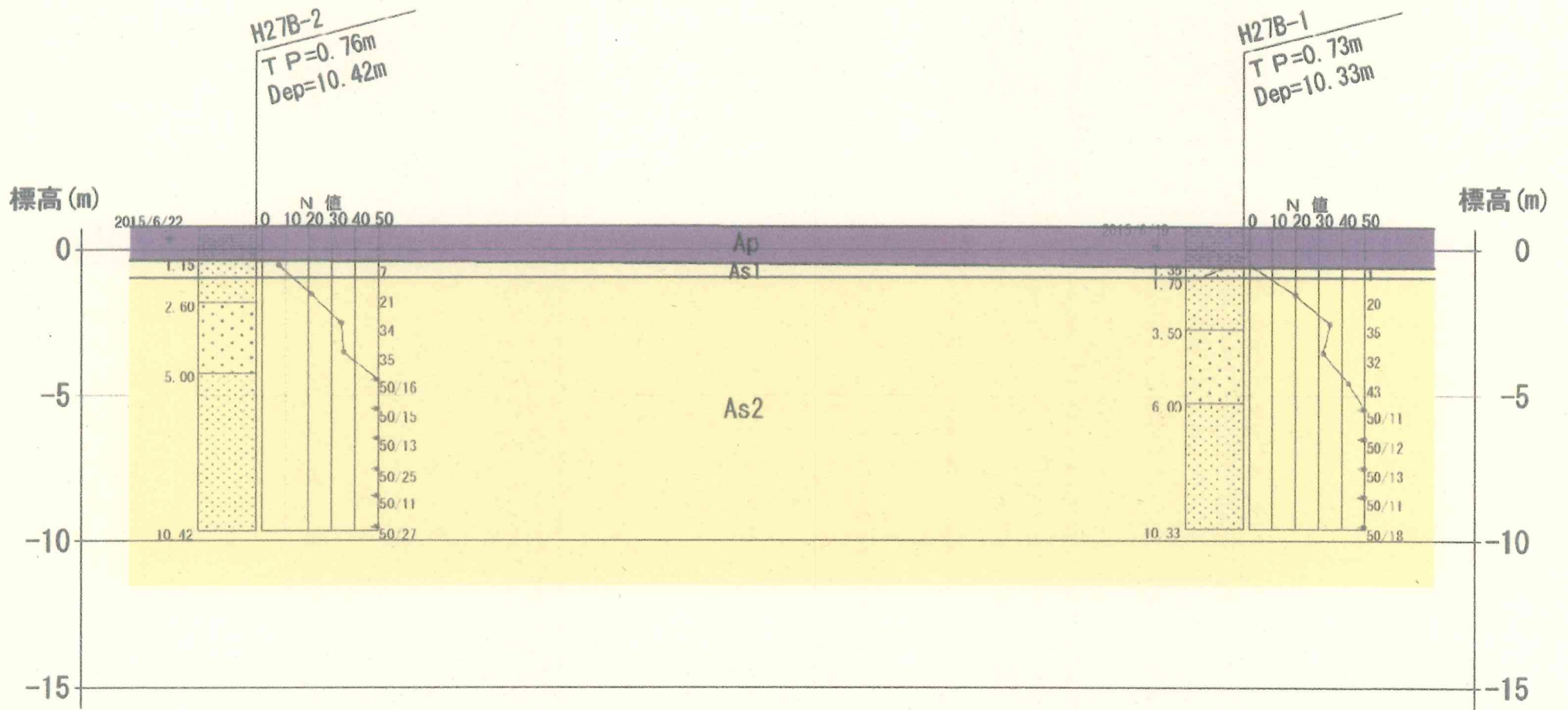


图 3.2 推定地質断面图 (縮尺 V=1/200 H=1/500)

# ボーリング柱状図

調査名 平成27年度公共ゾーン地質調査業務委託

ボーリングNo. 1500000001

事業・工事名

シートNo. 150000001

ボーリング名	BZB-1	調査位置	宮城県亶理郡亶理町字悠里1番地	北緯	10° 00' 00.0000"
発注機関	宮城県亶理町	調査期間	平成27年 6月19日～平成27年 6月20日	東経	100° 00' 00.0000"
調査業者名	応用地質株式会社 電話 022-237-0471	主任技師	田口 衛	現代理人	田口 衛
コ定ア者	田口 衛	ボーリング責任者	草野 辰也	試験機	KR-50HCW
エンジン	ヤンマーNFAD-8	ポンプ	V5-P	ハンマー落下用具	半自動型
孔口標高	TP 0.73m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総掘進長	10.33m	度	0°	向	0°
使用機種		試験機	KR-50HCW	エンジン	ヤンマーNFAD-8
ポンプ	V5-P	ハンマー落下用具	半自動型		

標尺	層厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	地盤材料の工学的分類	標準貫入試験		原位置試験		試料採取	室掘			
										N	値	深	試験名					
m	m	m	図	分	調	度	度	事		深	度	度	度	番号	方法	試験	月	
										0	10	20	30	40	50	60		
1		-0.92	1.35	1.35	有機質粘土	黒褐色	非常に軟らかい	上部10cm軟弱混入する。全体的に有機質な粘土で含水多く非常に軟らかい。所々に未分解質の腐植物及び細砂を混入する。	6.19 6.19	0	1	1						
2		-0.97	0.35	1.70	粘土混り細砂	暗褐色	非常に硬いゆぐらいい	5cm前後で有機質粘土と微細砂が互層状を呈す。含水多く非常に硬い。粘土は微細砂主体。全体的に非常に均質・均等程度である。上部2m付近まで水分を混入し暗灰褐色を帯びる。含水多い。下部に硬い層がある。2m以下は、中砂を主体とする。	1.45 2.15 2.45	5	7	8	20					
3		-0.77	1.89	3.59	細砂	暗褐色	非常に硬いゆぐらいい	細砂～粗砂まで分布し、上下に比べやや不均一な砂である。所々、細砂～粗砂が互層状を呈す。含水中位で全体的に締まった砂状である。5m以下、貝殻破片を混入する。	3.15 3.45 4.15 4.45	10	12	13	35					6 19
4					砂	暗褐色	密な	細砂～粗砂まで分布し、上下に比べやや不均一な砂である。所々、細砂～粗砂が互層状を呈す。含水中位で全体的に締まった砂状である。5m以下、貝殻破片を混入する。	5.15 5.45	11	14	18	43					
5					砂	暗褐色	密な	細砂～粗砂まで分布し、上下に比べやや不均一な砂である。所々、細砂～粗砂が互層状を呈す。含水中位で全体的に締まった砂状である。5m以下、貝殻破片を混入する。	6.15 6.25	36	14	11	50					
6		-5.27	2.93	8.00	砂	暗褐色	密な	細砂～粗砂まで分布し、上下に比べやや不均一な砂である。所々、細砂～粗砂が互層状を呈す。含水中位で全体的に締まった砂状である。5m以下、貝殻破片を混入する。	7.15 7.27	30	20	2	50					
7					砂	暗褐色	密な	細砂～粗砂まで分布し、上下に比べやや不均一な砂である。所々、細砂～粗砂が互層状を呈す。含水中位で全体的に締まった砂状である。5m以下、貝殻破片を混入する。	8.15 8.28	36	14	3	50					
8					砂	暗褐色	密な	細砂～粗砂まで分布し、上下に比べやや不均一な砂である。所々、細砂～粗砂が互層状を呈す。含水中位で全体的に締まった砂状である。5m以下、貝殻破片を混入する。	9.15 9.26	41	9	11	50					
9					砂	暗褐色	密な	細砂～粗砂まで分布し、上下に比べやや不均一な砂である。所々、細砂～粗砂が互層状を呈す。含水中位で全体的に締まった砂状である。5m以下、貝殻破片を混入する。	10.15 10.33	24	26	5	50					6 20
10		4.33	10.33															
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		

(注) 1. 試料採取方法の記号

- T シンウォールサンブラーによる試料
- D デニソンサンブラーによる試料
- 一 貫入試験器による試料
- S サンドサンブラーによる試料
- C コア試料
- OP コアバックによる試料
- R リジットサンブラーによる試料

3. 原位置試験名の記号

- E 電気検層
- P P波速度検層
- S S波速度検層
- サルベーションPS検層
- C キャリハ-検層
- D 密度検層
- O 温度検層
- L ルジオン試験
- K 現場透水試験
- K 孔内水平載荷試験

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
3.70	